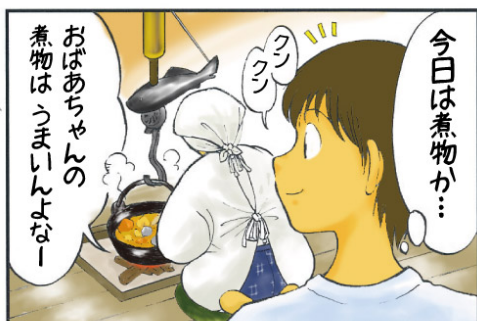
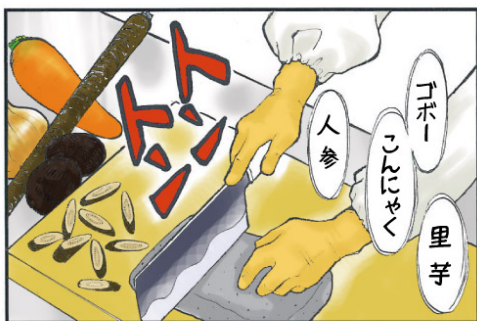




うー うまい!!!

かがみの田舎カレー物語

かがみの 田舎カレー物語



あれは、私が奥津小学校の一年生の頃だったでしょうか...。夕方、おばあちゃんが台所で、ごぼうや里芋、こんにゃくを大きく刻んでいました。晩ごはんは煮物じゃなあ... と思っていたら、それはカレーライスの具だったのです。

その日は、ちょうど小学校の学芸会。“桃太郎の家来”のキジ”役で活躍したご褒美にと、私のために作ってくれていたのです。

そして最後に、おばあちゃんはお鍋にお味噌を入れました。「なんでお味噌やお、入れるん?」

「まあ、そう言わずに食べてみんさい」

恐る恐る一口食べてみると、なんとということでしょう。作ったばかりのカレーが、昨日作ったかのようにまるやかではありませんか。

お野菜もお肉も大きくて、口いっぱいにおばあちゃんの味が広がります。ちょっと苦手だったごぼうも、鍋のなかでやさしい味になっていました。

今も、私にとっての一番のご馳走は、おばあちゃんが作ってくれたあのカレーライスなんです。

“昭和のなつかしさ”が特徴です

- ① まろやかさの決め手は鏡野町産のお味噌!!
- ② 具材が大きくて食べ応えがあり、煮崩れていない野菜が味わえる!!
- ③ 里芋・ごぼう・こんにゃくが意外と

